



鎌倉の猫事情 第四十八話

COLUMN

今年も鈴木さんちの梅の蕾が赤くふくらみ始めました。ヨレクホールを出て路地を右手に行ったところのお宅の梅の木は、鎌倉じゅうの梅が終わった頃に咲き始めます。今年には特に手入れが行き届いて、赤い蕾をたくさんつけています。もうすぐ今年最後の梅の花を咲かせるでしょう。毎年鈴木さんの梅の花で季節の移り変わりを楽しませて頂いているのです。

さて、季節の移り変わりをむすむすさせた鼻で感じているのかどうか、もはや、裏路地の乱暴者然とし、斜に構えた目で一段高い庇の上に寝そべるゲーニー君、相も変わらず不機嫌そうにしています。

数ヶ月前に我が家の仲間入りした白猫は、下のほうからそっとゲーニーのご機嫌を伺いながら、階段の陰や物干しと庇の隙間に寝場所を見つけてどうやら安全に暮らしています。

この白猫は・・・白猫といっても、体のあちこちに茶色と黒色のブチがあるのですが、なんと中途半端で、三毛猫というほどではないので、どちらかと言えばやはり白猫だろうということになっていきます。やせて死にかけていた初めの頃に比べると随分体も太くなって、元気そうになりました。うちのわがままな猫達の狭間で生きる術も身につけ、厨房スタッフに遠慮がちに餌をねだるのも上手になりました。苦労しらずのゲーニー一家に比べて、控えめで、感じがいいとさえ言われるほど、すっかりヨレクホールの裏庭に自分の住みかを確保することができたのです。

我が家の長女すみれと長男クウの兄弟とは気が合うようでいつも一緒に走り回っていましたが、あるとき3匹で遊んでいた勢いで、白猫も一緒に家の中に入ってきそうになったので、かわいそうとは思いましたが、はっきり家の中には入らないように申し渡しました。ゲーニー一家だけでも収拾がつかないのに、これ以上家庭の事情を複雑にするわけにはいけません。

白猫は、はっとして足を止め、遠慮なく部屋へ入って行くすみれとクウを入り口で見送りました。そのとき以来、白猫は窓やドアがどんなに開け放たれていても中へ入ることはしませんでした。

それに、どんなにお腹が減っていても身軽な猫にはたやすい場所にある食べ物に手をつけることもありません。かならず、私達の誰かが気がついてくれるのを待って餌を貰います。わがまま放題に好きなときにほしい物をもらい、どんなに叱られても退屈になるとお店にまで入ってきてしまうゲーニーたちとはえらい違いです。

私達はこの遠慮深い、身の程を知った白猫を本当の仲間と思うようになって行きました。裏庭の小さな棚の下を自分の餌場と心得、庇の下で雨や風をしのぎ、晴れた日は、物干しの隅で毛づくろいなどして暮らしています。

私達もゲーニーくんの動向に目を光らせていますが、今のところは白猫を横目で眺めています。この居候の存在を不愉快には感じてはいないようなのですが……

to be conn tinue

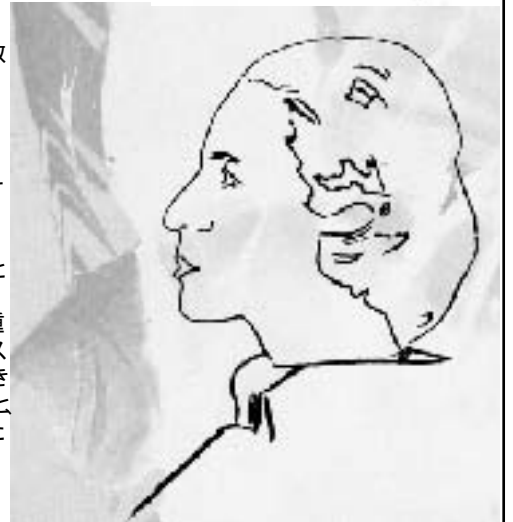


Border

2 極東の街 ウラジオストック

中央シベリアの古都イルクーツクから、終着駅ウラジオストックまでは3日3晩の旅である。長い寝台車の旅で寝ぼけた目をこすりながら、まだ白く雪化粧を残した列車から降り、道中お世話になった車掌さん、エリザベートに別れの挨拶をした。彼女は長い旅の間、お人好しの日本人が盗みに合わないよう目を光らせ、お調子者の帰還兵とウオッカを飲みすぎないよう心配し、私たちの仲間をハバロフスクで救ってくれた恩人でもある。エリザベートは私達の車両の責任者であり、プロ意識の高い女性である。並んでホームに立ってみると、ハバロフスクでのあの毅然とした態度からは意外なくらい、小柄な人だった。ロシア号の制服を着込んだ、金髪と青い目を持つエリザベートが仕事を終え、はにかんで少し微笑むとロシアの優しいお母さんの顔になった。「スパーバ・・・本当に・・・」他に伝える言葉を知らない。列車が駅に入ったのは真夜中である。私たちはこの後まだ夜が明けるまでの数時間を駅の中で過ごす必要がなかった。シベリアの旅の余韻を残しながら駅の構内へ入って行って驚いた。ここはロシア極東最大の都市であり歴史あるウラジオストックなのだ。素晴らしく高く造られた天井や壁にはヨーロッパ式の彫刻が施され、文句なしに美しく、厳かな雰囲気さえする建築である。私はあんなに美しく造られた駅を見たことがない。聞くところによると、お洒落なばかりで、経済事情はよくないといわれているロシアとロシア人の、高い自尊心を感じさせた。実際街へ出てみると、ヨーロッパ風の美しい街並みではあるけれど、市街地の重要な交通手段である路面電車は、まるで爆撃を受けたように痛み錆びついている。デパートのショーケースもようやく商品が空白を埋めているといった風だ。イルクーツクで、「ウラジオストックは寒いよ」と言われてきたように、気温はイルクーツクより少し高いはずだけれど、坂の多い港町で湿気を含んだ潮風にさらされるときゅんと体が縮こまる感じである。美しいロシア女性たちは、凍った坂道を毛皮を羽織り、つま先の尖ったハイヒールで背筋を伸ばし優雅に歩いて行く。寒そうにないというのが、彼女達のおしゃれなのだろうか。大きなダウンのコートを着込み、温かいブーツをはいた自分の格好が滑稽に見える。この町はその年石炭不足に悩まされたそうぞ。極東の街は興味深く、美しい……

続く



TOPICS

ミルクホールのオリジナルグッズ
が登場いたしました。

by ミルクホール&ささめやゆき

鎌倉在住の版画家であり挿絵作家でもある、ささめやゆき氏が、数年前ヨレクホールのために5枚の絵を描いて下さいました。ささめやさんは、別名細谷正之の2つの顔を持つ個性的な作家です。昔見た童話のように、時代や、国や、時空を超えて、私達に夢の世界を思い出させてくれる、可愛くて、ちょっともの悲しくなるようなノスタルジックな絵と文で本や版画を作り上げています。最近では、新聞小説の挿絵や月間『すばる』の表紙などで活躍中です。

ヨレクホールでは、ささめやさんの描いてくださった5枚の絵をモチーフにオリジナル商品を企画制作しています。また、ヨレクホールでは、ささめやゆき氏の、版画ポストカード絵本なども販売しています。



- ミルクホールオリジナルグッズ
- グラス5種類 5個セット 3500円
 - 2個セット 1400円
 - LADY'Sシャツ2種類 2500円
 - 三角灰皿 5種類 1個 850円
 - ローションポンプ 5種類 2000円
 - タンブラー 1個 700円
 - 新入荷
 - マグカップ4種類 1個 750円
 - デミカップ4種類 1個 650円
 - ガラスマグ種類限定50組入荷予定



PARTY

ミルクホールの BAR ROOMで
パーティを開きませんか？

ミルクホールで少人数のパーティを企画してみませんか？

ミルクホールでは、奥のBAR ROOMを利用した、数人から15人程度の、小さなパーティを承っております。お友達同士のランチパーティや、ティパーティに、ご利用ください。夜のパーティには、ご希望によりお料理をご用意することもできます。どうぞ、お気軽にご相談下さい。カウンタースタッフまでお問い合わせは、お電話かメールにて



0467-22-1179

<http://www.mikhall.co.jp/>
e-mail info@mikhall.co.jp

Milk Hall Times

ミルクホールタイムス総集編発行
のお知らせ

ヨレクホールタイムスは1986年に創刊し、現在に至ってます。19年の間には一年近い休刊もあり、ご愛読頂いたお客さまから苦情を頂くことも度々ありましたが、10号を越すことになり、思えば長い年月が流れたものだと感慨もひとしおです。長い年月のさまざまな思い出のこもったヨレクホールタイムスの総集編を現在製作中です。ヨレクホールが開店して30年、タイムス創刊号発行より19年、時代も大きく変わりました。ヨレクホールをご利用頂いたお客様に、30年余のさまざまな記憶を辿って頂き、又、鎌倉の猫事情など、読み物をお読み頂くお客様にはバックナンバー全てを読んで頂けるような編集にしております。発行予定は・・・ただいま奮闘中です。発行日が決まり次第、ご予約など承り、遠方のお客様には郵送もさせていただきます。製作段階にて煮詰まる場面も多々あり、発行予定は大幅に遅れてごめんなさい。どうか、もう少しお待ち下さい。



ヨレクホールタイムス編集者より



PLAY

甘い生活

~ La Dolce Vita ~

劇団離風霊船 山岸諒子 プロデュース

Rose Garden 第二回公演

演出: 知念正文 (劇団 鳥獣戯画)

作: 山岸諒子

下北沢「劇」小劇場

チケット料金

指定席 ¥3300円

自由席 ¥3000円

3/16 *Wed.* --- 21 *Mon.*



今月16日より、下北沢の小劇場で行われる「甘い生活」とい題名のこのお芝居、今までヨレクホールタイムスでご紹介してきました数々のお芝居とはちょっと趣きが違うようです。今までご紹介してきましたお芝居は、お話の舞台が日本であったり西洋であったりゆ違いはありますが、大抵は大時代で、宗教的なテーマや、歴史物語が背景にあり、少々古臭い、見方によっては辛気臭いお芝居が多かったのですが、今回のお芝居の舞台は、現代の東京、しかも銀座という設定。テーマは現代の若者の男と女の関わりだそうで、「伝説の娼薬」という先まで登場するようで、なんと楽しみみなような怖いような... 一味違う小劇場の興味深いお芝居、ヨレクホールのマスターが重要な役どころで登場するそうです。チケットのお問合せは、ヨレクホールにて

..... ANTIQUES



ミルクホールのアンティークは
毎日の生活の中で使える
やさしいアンティークです
日常の空間の中で昔の時間と
触れ合ってみてください

新入荷情報

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

♣ 古陶磁

東大寺瓦・百濟瓦など
古伊万里小皿・鉢
大正時代色絵碗・皿入荷
昭和漫画子ども碗
明治銅版そば猪口ほか
伊万里そば猪口・明治鉢
李朝白磁・青磁

伊万里 古伊万里入荷
明治銅版各種入荷

四国砥部焼鯨絵染付新入荷

昭和25年~30年頃輸出用デッドストック
敗戦後の日本で産業の再生を賭けて輸出用に焼かれ、
そのまま倉庫に眠っていた在庫の品です。
珍しい鯨の絵がモダンなデザインで好評です。
まだ産地に残る残った品を探しました。
猪口・小皿各種の他、鉢等入荷



♠ 和洋家具

明治 大正時代の和洋家具類

大正時代水屋筆筒
大正時代 衣装筆筒他
昭和初期ガラス入り本箱
昭和初期文机
昭和茶棚など

◆ アンティーク

大正時代ガラス器
大正時代ランプシェード
ステンドグラス各種
英国製 1920年頃
レプリカ照明器具各種
大正 昭和初期風
ランプシェード金具付



♥ 古民芸

大正時代鏡台
お針箱
無地屏風
格子建具
大正時代古布
火鉢 煙草盆
銭函 糸巻きなど

LIVE 3/19 *Sat.*

pm 7:30

湘南の波の音、風のささやき。
自然を肌で感じ、素直に歌にする。
安らぎと憂しさ、心地よい響きが聞こえてくる。
中空をやんわりと浮遊するよな感覚で
感じて下さい。

HALF MOONの音楽は愛と平和を歌います。
by ハーフムーンのライブで、
琢磨 仁 (Jin Takuma) MLK HALLのBAR TIMEを
琢磨 啓子 (Keko Takuma) お楽しみください